

平成15年度 尾瀬傷病事故統計

(尾瀬山の鼻・尾瀬沼ビジターセンター対応記録から)

財団法人 尾瀬保護財団

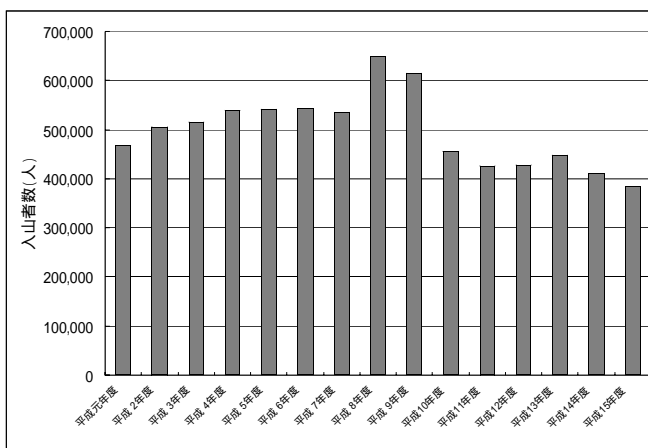
目 次

1	入山者数の状況	1
2	傷病事故の発生状況	1
(1)	年別発生状況	1
(2)	地域別発生状況	2
(3)	原因別発生状況	2
(4)	シーズン別発生状況	3
(5)	月別発生状況	3
(6)	年齢別・男女別発生状況	4
(7)	傷病者の居住地別発生状況	4
(8)	グループ人数別発生状況	5
(9)	傷病事故の通報状況	5
3	救助活動	5
(1)	救助隊出動状況	5
(2)	ヘリコプター活用状況	6

1 入山者数の状況

尾瀬が利用できる季節は5月大型連休後から10月中旬までであるが、同期間で環境省が各登山口に計測するセンサーを設置し、年間の尾瀬入山者数を計測している。この結果によれば、尾瀬の入山者数は平成2年度から平成7年度まで50万人台前半を推移し、平成8・9年度にはテレビ等のマスコミでの頻繁な尾瀬紹介により60万人台前半に上昇した。しかし、平成10年度には不景気と週末の悪天候から約46万人に減少し、その後も40万人台で推移してきたが、平成15年度には平成元年からの計測後初めての30万人台となる、約38万4千人という結果となった。

年度	入山者数 (人)	対前年比 (%)
平成元年	467,090	
平成2年	505,840	108.3
平成3年	515,090	101.8
平成4年	539,790	104.8
平成5年	540,264	100.1
平成6年	542,058	100.3
平成7年	534,196	98.5
平成8年	647,523	121.2
平成9年	614,317	94.9
平成10年	455,409	74.1
平成11年	425,807	93.5
平成12年	428,446	100.6
平成13年	448,041	104.6
平成14年	409,942	91.5
平成15年	384,251	93.7



尾瀬の入山者数の推移(環境省のデータから作成)

2 傷病事故の発生状況

(1) 年別発生状況

平成15年度に尾瀬保護財団が管理する尾瀬山の鼻ビジターセンター(群馬県より管理受託)、尾瀬沼ビジターセンター(環境省より管理受託)職員が出動した傷病事故は、33件発生した。

年度	区分	発生件数 (件)	遭難者(人)			
			死亡	行方不明	負傷	計
8年度		16			16	16
9年度		33	2		31	33
10年度		49	4		45	49
11年度		55	1		54	55
12年度		70	2		68	70
13年度		46			46	46
14年度		51	2		49	51
15年度		33	1		32	33

(2) 地域別発生状況

地域別では大江湿原・沼北岸での事故発生率が24.2%と最も高く、ついで尾瀬沼南岸18.2%、沼山峠～尾瀬沼15.1%であった。多くの人を訪れる尾瀬ヶ原での事故は比較的少ない傾向にある。

地域別	区分	発生件数 (件)	発生 比率	遭難者(人)			
				死亡	行方不明	負傷	計
鳩待峠～山ノ鼻		4	12.1			4	4
尾瀬ヶ原		2	6.1			2	2
三条ノ滝		0					
大江湿原・沼北岸 (VC周辺を含む)		8	24.2			8	8
尾瀬沼南岸		6	18.2			6	6
沼山峠～尾瀬沼		5	15.1			5	5
大清水～尾瀬沼		2	6.1			2	2
尾瀬沼その他の地域		1	3.0			1	1
燧裏林道		0					
アヤマ平		0					
至仏山		1	3.0	1			1
燧ヶ岳		2	6.1			2	2
不明		2	6.1			2	1
合計		33	100.0	1		32	33

(3) 原因別発生状況

傷病事故に至った原因では、依然として木道上での転倒事故が63.6%と最も多く、木道整備区間が多い尾瀬地域の特徴を示している。転倒以外では、歩行疲労による膝痛、足の痛みが目立った。

原因別	区分	発生件数 (件)	遭難者(人)				
			死亡	行方不明	負傷	救出	計
木道上の転倒		21			12	9	21
歩道上の転倒		2			2		2
病気		3	1			2	3
疲労・低体温		5			5		5
落石		0					
道に迷い		0					
雪崩・雪渓崩落		0					
落雷		0					
徒渉失敗		0					
その他		2			2		
不明		0					
合計		33			21	11	33

(4) シーズン別発生状況

シーズン別では夏山での発生が63.6%と最も高かった。

区分 シーズン別	発生件数 (件)	遭難者(人)				
		死亡	行方不明	負傷	救出	計
春山(4・5・6月)	10			10		10
夏山(7・8月)	21			9	12	21
秋山(9・10・11月)	2				2	2
合計	33			19	14	33

(5) 月別発生状況

月別発生では7月が16件(48.5%)と最も多く、次いで6月が7件(21.2%)、8月が7件(15.2%)の順であった。救出が必要となった重大な事故は7月以降に集中して発生している。

区分 原因別	発生件数 (件)	遭難者(人)				
		死亡	行方不明	負傷	救出	計
4月	0					
5月	3			3		3
6月	7			7		7
7月	16			8	8	16
8月	5			1	4	5
9月	1				1	1
10月	1				1	1
11月	0					
合計	33			19	14	33

(6) 年齢別・男女別発生状況

傷病者の年齢層は、不明者を除くと全て40代以上の中高年であった。また、男女比では、やや女性が多いもののほぼ同じくらいの割合を示している。

区分 年代別	男性(人)					比率 (%)	女性(人)					比率 (%)	男女計 (%)
	死亡	行方不明	負傷	救出	計		死亡	行方不明	負傷	救出	計		
10代													0人
20代													
30代													
40代						8人 66.7				1	1	10人 71.4	18人 69.2
50代			6	2	8				2	1	3		
60代									2	3	5		
70代以上									1		1		
不明			4		4	33.3			4		4	28.6	30.8
合計			10	2	12	100.0			9	5	14	100.0	100.0
比率	46.2%					53.8%							

年齢・性別ともに不明の7名のデータは割愛した

(7) 傷病者の居住地別発生状況

東京都・埼玉県を中心とする関東地方居住者の傷病者数が11人(33.3%)と多かった。またこの他の大都市圏居住者の傷病者も大阪府の4人があった。東北方面、関西方面の傷病者もそれぞれ10%前後みられた。

区分 都道府県別	死亡	行方不明	負傷	救出	計
宮城県			2		2
福島県				1	1
栃木県			1		1
群馬県			1	1	2
埼玉県			2	1	3
千葉県				1	1
東京都				3	3
神奈川県			1		1
京都府			1		1
兵庫県			2		2
高知県			1		1
不明	1		8	6	15
合計	1		19	13	33

(8) グループ人数別発生状況

傷病者からの聞き取り内容として記載漏れが多く、データ数が揃わなかったため、割愛した。

(9) 傷病事故の通報状況

通報状況は本人がビジターセンターへ移動しての通報が19件(57.6%)、次いで山小屋や救助隊からの出動要請が12件(36.3%)であり、同行者による通報の2件はいずれもツアーコンダクターからの要請であった。

通報別	通 報 者 (件)						比率 (%)
	本人	家族	同行者	他人	山小屋 救助隊	計	
口 頭	19		2		12	33	100
携帯携帯							
電 話							
アマチュア無線							
その他無線							
不 明							
合 計	19		2		12	33	100
比 率	57.6		6.1		36.3	100.0	

3 救助活動

(1) 傷病者対応時の出動状況

ビジターセンターによる対応が19件と約半数を占めているものの、例年と比較して、消防、救助隊の出動率が高い傾向にあった。

年度	区分	発生件数 (件)	消防	救助隊	ビジター センターのみ	一般	合計
平成8年度		16	2	4	12		18
平成9年度		33	12	20	10		42
平成10年度		49	8	33	16		57
平成11年度		55	9	28	27		64
平成12年度		70	11	18	45		74
平成13年度		46	9	21	22		52
平成14年度		51	9	14	31		54
平成15年度		33	8	10	19		37

(2) ヘリコプター活用状況

傷病事故33件のうち6件(18.2%)にヘリコプターを依頼し、5人を搬送した。

1件はヘリ要請をしたが悪天候のために引き返してしまい、担架での搬送となった。

また、6件中5件は尾瀬沼地区での要請であった。

年度 \ 区分	依頼件数 (件)	負傷者救助 (人)	病人等救助 (人)	行方不明 (人)	遺体収容 (体)
平成8年度	2	1	1		
平成9年度	5	3	1	1	
平成10年度	3	3			
平成11年度	5	5			
平成12年度	7	5	1	1	
平成13年度	6	6			
平成14年度	6	4	1	1	
平成15年度	6	4	1		